

●日本国憲法より●

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

協同で創る健やかライフ

健康

第738号

発行所
〒036-8045 弘前市大字野田2丁目2の1
津軽保健生活協同組合
発行責任者 村上 渡
電話 0172-33-7515
ホームページ http://www.tsugaru-health.coop
Eメール kenkou@tsugaru-health.coop
印刷所 やまと印刷株式会社
◎組合員の購読料は出資金に含まれます

健康 第738号 2024.7

総代会の流れ

第99回通常総代会は、6月18日午後12時30分から「藤崎町文化センター」で開催されました。291名の総代(代理・書面を含む)が出席し、伊藤理事長のあいさつに続き、「監査報告」。村上渡専務から1、2号議案の「23年度の事業報告・決算報告」、「24年度の事業計画・予算案」の提案が行われ、質疑応答がありました。3、4、5号議案では「役員報酬の承認」「役員選任の承認」「監事監査規則改定の承認」に関する件が提案され、質疑は1件のみで終了。そして各議案の採決が行われ、全ての議案が賛成多数で承認されました。その後、第1回理事会が開かれ、理事長に現職の伊藤医師が選出されました。また新入医師が壇上にあがり自己紹介をして、最後に竹内一仁副理事長のあいさつで閉会しました。



2024年度

この経営危機を乗り越えて いのちとくらしを守り抜こう

第99回通常総代会 6月18日開催



理事長 伊藤 真弘

いよいよ

第99回津軽保健生活協同組合通常総代会にご出席の皆さん、こんにちは。総代会の冒頭にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

皆さんご存知のように、津軽保健生活協同組合は1952年に創立され今年72年目になります。昨年の総代会でも申し上げましたが、私たちの法人組織は生活協同組合です。72年前に津軽の貧しい人びとが少しずつお金を出しあい、志をともにする医療者が力を合わせて津軽保健生活協同組合を作りました。生活協同組合という組織はいわゆる非営利共同の組織です。

原点は健やかに幸福に

津軽保健生活協同組合が実現しようとしてきた社会的目的とは何でしょうか。戦後間もない1952年と72年が経過した2024年の現在は、社会の様相は大きく変わっている部分もありますが、一方それぞれの時代で変わらざるに私たちが目的としてきたことは、津軽地域の人びとが健やかに幸福に生活できるように、そのいのちと

くらしに貢献することであり、そういう営みを通じて豊かな生活が実現できる平和で公正な社会の実現です。

そういう視点でこの数年のコロナパンデミックの時代を俯瞰してみると、社会経済的立場が相対的に脆弱な人びとがより大きな影響を受け、貧困や格差が広がる社会状況が蔓延しました。津軽保健生活協同組合の各事業所は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった数年間、地域の人びとのいのちと健康そして生活を守る最前線で奮闘してきました。本当に必要と思えることをがむしゃらにやってきましたと言えらると思います。保健所の中でさえ「困ったら健生」と言われるように、地域の医療要求に対して全職員が一丸となって取り組んできました。

一方で、新型コロナウイルス感染症が昨年5月で5類に移行し、その後各種補助金や政策的支援がなくなりまし。コロナ禍の間に地域の人たちの受診行動も変化し、また現場ではコロナ感染者がいなくなったわけではないことから、感染対策にかかるコストはそれまでと変わらずに必要であり、さらに水光熱費の大幅な上昇や医療材料費の高騰、そして今年診療報酬・介護報酬の実質マイナス改定など、医療介護活動の経営的な負荷が急速に増大しています。

経営危機を乗り越えて

2024年春時点で、津軽保健生活協同組合は経営危機状態です。詳細は専務の報告で触れられると思いますが、急速に資金の流出が進みこのままでは倒産の危機に直面する可能性があります。先程も述べましたように私たちは非営利共同の事業体として、津軽の人びとにより作られた生活協同組合として70年以上の歴史がありました。そしてその社会的目的を実現するために、この地域からいなくなることは許されないと考えています。

私たち津軽保健生活協同組合はその始まりから一貫して、津軽の人びと、それぞれの社会経済的状況に関わらず安心してかかる医療介護事業所としての役割を果たしてきました。差額ベッド料を取らず無料低額診療事業を実施するなど、「お金がなくても安心してかかる」ことを大切にし、生活の不安に対してはセーフティネットの活用をはじめとした制度利用を支援するソーシャルワーカーに取り組みしています。誰もが安心して住み続けられるまちづく

第99回通常総代会スローガン

- 一、いのちと健康を守る医療・介護事業の維持発展を、組合員・役員が一丸となって「総合力」と「連携」で事業と運動を前進させ、津軽における医療生協組織を守り発展させよう。
- 一、新自由主義政策の結果としての医師不足から医療崩壊を防ぎ、地域住民と組合員を守るために医師確保と育成を進め、国民の求める医療を実現しよう。
- 一、憲法を守り生かし、大軍拡・改憲を許さず、平和で公正な社会の実現をめざし行動しよう。



新入医師に激励の声が飛び

(本号は、総代会の決定内容をお伝えするため、5日ほど発行が遅れました)

2023年度 組合員活動 まとめ

日本医療福祉生活協同組合連合会の「2030年ビジョン」、メインテーマ「誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへの挑戦」の実践と、津軽保健生協の組織力を生かし「ひとりぼっち」の組合員を作らない、「困った」に寄り添いながら、だれもが健康で平和に暮らせるまちづくりに取り組みました。コロナウイルスの影響はありましたが、組合員とのつながりを維持するため、班会・支部レク・健康まつりなどの支部行事が旺盛に取り組みられ、コロナ禍前の活動に戻ってきました。

生協四課題のなかで、尾上支部、板柳支部、五所川原支部、金木支部、市浦支部の5支部が3課題を達成しました。

四課題の取り組み

① **仲間ふやし** 年間目標2,500人に対して1,206人(目標比48%、前年度比98.5%)です。自主目標を達成した支部・事業所は10支部と健生黒石診療所でした。

組合員の高齢化に伴い、自由脱退が2,031人、法定脱退が1,327人あり、組合員数は2,152人の純減、総組合員数は5万人を切りました。

② **出資金ふやし** 年間目標1.5億円に対して91,674,400円(目標比61.1%、前年度比104.8%)の到達でした。増資者実人数は21,326人と前年度を244人上回りました。また、口座振替による定期増資者は109人になりました。支部独自の目標に対しては95.1%と大奮闘をしました。自主目標を達成した支部・事業所は、15支部と津軽医院でした。

③ **班づくり** 全体で新たに10班が結成され、2019年度以来の2桁実績となりました。内訳は和徳支部2班、南中央支部1班、北支部1班、黒石支部1班、尾上支部1班、平賀支部3班、浪岡支部1班。一方で班の整理も行われ、登録は202班に減少しました。自主目標を達成したのは6支部でした。

④ **担い手づくり** 到達は255人となり、法人目標(109%)、及び自主目標(100%)を14支部が達成しました。

長期住所不明組合員の脱退処理

定款第10条2項に基づき、音信不通の組合員1,657人(出資金8,709,800円)のみなし自由脱退処理を行いました。なお、申し出があった場合は本人確認の上、再加入および返金の対応をいたします。

委員会のまとめ

組合員活動委員会 コロナ禍による行動制限が緩和され、各支部でレクリエーションや活動者交流集会などの支部行事に旺盛に取り組みました。秋の生協強化月間には地域の訪問行動を再開しました。

社会保障平和委員会 社会保障改悪阻止活動を進めました。

事業所利用ボランティア委員会 ①虹の投書箱への対応。②患者相談室での対応。③院内ラウンド開始。④ボランティア 院内ボランティアを再開。⑤ボランティア学校を開催。

健康づくり委員会 地域まるごと健康づくり ①健康チャレンジ2,357人が取り組む。②まちかど健康チェックを開催。③自治体との懇談。6自治体と懇談。④すこしお生活。塩分チェック943件、みそ汁塩分チェック125件。⑤担い手育成。⑥班会メニュー増設。

教育委員会 ①通信教育の受講者50件。②生協学校の開催に41人。③おらほのいいどご発表会に82人の参加。

2024年度 組合員活動 方針

「誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへの挑戦」、「平和で公平な社会の実現」を津軽保健生協の組織力を生かし、「困った」に寄り添いながら、つながりを絶やさない組合員活動を目指します。2024年度は法人経営を守るために、仲間ふやしと出資金ふやしの年間目標にこだわった運動方針を別途提案し、理事会が先頭に立ち取り組みます。

1 生協四課題の達成を目指します

- ① **仲間ふやし** 2,500人(支部900人、事業所1,600人)
- ② **出資金ふやし** 2.5億円(支部8,000万円、事業所17,000万円)
- ③ **班づくり** 59班(組合員1,000人以上の支部10人、1,000人以下1班)
- ④ **担い手づくり** 235人(組合員1,000人以上の支部10人、1,000人以下5人)

2 生協強化月間の取り組み

生協四課題の8割達成を目指します。秋の全国統一月間(10月~11月)に合わせて行います。また支部では任意で2か月の月間を設定して取り組みます。

3 班会およびたまり場づくりで健康づくり・安心づくりを広げます
健生病院の職員が考えた「健生病院班会メニュー」を活用し地域組合員と職員の協同で健康づくりを広げます。町会やさまざまな団体と連携して1支部1たまり場づくりを追求します。

4 担い手づくりと支部運営

あきらめず、粘り強く担い手づくりに取り組みます。支部の抱えている課題を理事会が援助し解決に向けて取り組みます。

5 個別課題の整理に取り組みます

- ①長期住所不明組合員の確認調査
- ②健康新聞の郵送を減らす取り組み
- ③事業所の組合員利用率の向上

委員会活動 方針

組合員活動委員会 津軽保健生協を含む全国の医療機関は、政府の社会保障制度の削減の影響によりかつてない経営危機に直面しています。経営困難を乗り越えるために、地域組合員と職員が一丸となって仲間増やし・出資金増やし運動に取り組みます。「組織部LINE」を開設しました。各支部・法人の様々な取り組みなど情報発信していきます。支部活動交流集会を開催します。

社会保障平和委員会 1安全安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守る運動を進めます。2憲法を生かし、平和を守る運動を進めます。3「平和と社会保障の学習会」を開催します。

事業所利用ボランティア委員会 昨年度の成果をさらに前進させます。

健康づくり委員会 健康づくりを通して、くらしとまちづくりを推進します。①健康チェックを拡大します。②健康チャレンジ2,500人を目標にします。③医療福祉生協の「8つの生活習慣と2つの健康指標」を広げます。④健康診断を勧め、病気の予防につなげます。⑤「すこしお生活」(少しの塩で生活)を広め、食生活にいかします。⑥日常に運動を位置づけられるよう健康教室に取り組みます。⑦子ども健康教室を広げます。⑧フレイル・オーラルフレイルの予防活動に取り組みます。

ほかに自治体との懇談、健康づくり中央連絡会の活動などです。

教育委員会 1医療福祉生協の価値を学び、一人ひとりの「健康観」を大切にする「人づくり」を進めます。2①通信教育受講の取り組み。②生協学校。③おらほのいいどご発表会。④支部学習担当者会議。⑤comcom購読の普及活動。

2024 組合員の声

生協活動への率直なご意見募集中!(500字程度)

〒036-8045 弘前市大字野田2丁目2の1
津軽保健生活協同組合 機関紙編集委員会
Eメール kenkou@tsugaru-health.coop

総代の発言と回答の要旨

第1号議案

高松 利昌 総代(和徳支部)



「サテラ イトクリニックの必要性がより高まっている」という理由は、介護事業で「まだまだ存在する課題」とは。救急車の受け入れ数が前年比で1割増、その要因は、2次救急輪番体制に関わり、たとえば小児科の担当日程などは事前に公表できないのか。資金ショートが懸念される事態は昨年の事業計画でも予見されていたはず。見直せなかった最大の要因は何か。組合員の高齢化は深刻で、担い手の高齢化と不足に直結している。「組合員参加のあり方提言」を学習し実践すれば解決できるのか。

高橋 佳孝 総代(五所川原支部)



「発言」議案書では経営困難が強調され、それを知ったのは「健康」6月号における組合員の声「経営困難の克服のため、出資金の倍増」を「であった。同じ紙面に村上専務の「経営上の問題点」がセットで掲載されている。当生協はどうして経営困難に陥ったのか。第2号議案では「経営危機」とまで表現をエスカレートさせている。「健康」では経営悪化の原因を政府の社会保障抑制政策、利用者の自己負担増による受診抑制、急激な物価高騰の3点にあるとしている。議案書でも「診療報酬・介護報酬改定の抜本的な改善が無かった」として経営不振の責任を国になすり付けているが、これらは全国の医療機関が等しく被っており、外部要因である。経営とは外部要因の環境下で行うものだ。企業経営は、今般のような荒波に

「夏期一時金の増額により、賞与が大きく予算超過した」とある。理事会は昨年度の総代会に損失予算案を提案し、私は反対したが、圧倒的承認のもと成立した。これによって理事には、1円でも損失を圧縮する義務が課せられたと私は解する。予算執行者は当然に予算の精神を順守する義務を持つ。よりによってこの総代会の終了直後に予算を超過する夏期一時金を執行した。総代会決定に背を向けた行為ではないか。労働組合との交渉では、まだ第一四半期が過ぎたばかりで決算はどうなるか分からないとしか言えない。総代会では予算を超える支出まで承認したのではない。監事は「不正の行為は認められない」と述べているが、理事会の行為は悪意がないにしても、正しい行為と言えないのではないか。私は理事長を含む役員員の皆さんも同志と想っているため、この追及はこの場限りとするが、予算を超過する出費に反対した理事は何名いたのか教えていただきたい。

しばしば見舞われる。それに備えて財務の健全化や自己資本の強化に努め、経営体力を蓄え、向かってくる荒波をしのぐものだ。

私は昨年の総代会で「事業収入から事業費用を差し引く事業剰余金が△10億円を超える」というのが大変異常だと指摘した。高松総代は、昨年も「これでは数年のうちに資金ショートしてしまうのではないか、心配だ」とストレートな発言をしていた。理事会は私たちの発言を真剣に検討されたのか。私には不作為としか映らず、準備を怠り、荒波に備えうる体力を構築できなかった。それがために今般の事態を招いてしまった。これが経営困難、経営危機に陥った本質なのではないか。

救急とリハビリと言われており、心臓や循環器を強化するためにICU病棟をつくったり、最近では消化器センターという形で外科と消化器内科がひとつのフロアになり、色々と工夫して、なんとか健生病院をより良い病院にしようと努力されていると思う。ひとつは質問で、医師の働き方改革の内容とは。もうひとつは、最近救急外来を受診した患者が、救急輸送病院の他病院に回され、紹介状無しという理由で7000円も余計に受診料を取られ、そのことで津軽保健の組合員を脱退する人もいたということ。他の病院に回すことはあるだろうが、これまで健生病院の救急外来は、断らない救急、24時間対応をずっと実践して組合員の信頼を得てきた。断らない救急外来の維持を図ってほしい。

浅利 直志 総代(常盤支部)



「発言」72年に及ぶ津軽保健生協の歴史の中で、特にこの3年間あまりのコロナ禍で、健康を守り、検査や治療の最前線に立ってきた皆様

藤原 竹二 総代(北東支部)



「発言」二次救急について発言する。健生病院の医療活動は、昔から

9%なので6億円強となる。健生クリニックが多様な外来需要に切れず、受け入れられていない患者がいるとすれば、外来収益の損失になっているため、外来に必要な高まっている」として。介護事業の経営に対する法人の認識の弱さがまだある。運営方法や、介護事業そのもの、法人内事業所利用に対する職員の意識の弱さなど。コロナ補助金制度縮小のタイミングを見ながら、健生病院、藤代健生病院ともにコロナ病床確保を年度途中で終了したが、病床確保終了後もコロナ患者受け入れや病棟でのクラスター発生に対応しながらの運営となった。実際には補助金がなくなっただけでコロナ禍とほとんど変わらない状況であった。補助金がなくなると資金流出する経営構造と認識しながら、これを見直すまでは着手できなかったというのが実情。

「組合員参加のあり方提言」は方針でも答えでもない。学習・実践で課題が解決すると現段階で断言はできないが、提言やそれを受けた他法人の現状や取り組みを学ぶことで、大きなヒントが得られると考えられる。みんなで今後のあり方を考えていきましょう。3月に電子カルテの入れ替えを行い、その支払いが4月のため3月末では買掛金が大変大きな数字になっている。電子カルテ入れ替えに補助金等はなく、7億円の費用のうち、コロナ禍に緊急融資として借入した5億円を充当し、残りの2億円は自己資金での支払いとなった。報酬の引き下げにより経営困難な病院は全国の7割にも及んでおり、差額ベッド料を取っていても赤字になっている病院もある。差額ベッド料をもらわず、診療報酬だけで運営しているが、この物価高騰に見合った収益の構造にして

第34回 西北健康まつり

津軽保健生活協同組合



千葉 大輔 医師 「消化器センター創設」

- 13:00~13:30 オープニング 五所川原第一高校による津軽三味線演奏
13:40~14:00 健康の達人 紹介と表彰(3人)
14:00~15:10 記念講演「消化器センター創設」
15:10~15:30 大抽選会 1等~3等以外の方にも景品あります
15:30 閉会式

健康チェックコーナー(12時~15時30分) 出資金コーナー 原爆パネルコーナー 平和喫茶コーナー

主催 津軽保健生活協同組合 西北健康まつり実行委員会 お問い合わせ 各支部役員または、組織部まで ☎0172-35-8933

日時 7月20日(土) 13時~15時30分 会場 生涯学習交流センター「松の館」(つがる市木造若緑) 参加費無料(出資金にご協力ください!)

2024年度 ますかど健康チェック

Table with 4 columns: 月日, 支部名, 実施場所, 時間. Rows include 7月5日(金) 文京支部 コープ西弘店 10:00-11:00, 7月21日(日) 浪岡支部 いとく浪岡店 11:00-12:00, 7月29日(月) 尾上支部 トライアル尾上店 10:30-11:30

Table with 4 columns: 各支部予定, 日, 支部名, 実施場所. Rows include 7/3(水) 大成支部 わとなの生き生きサークル 第2回 一代様巡り●黒石、碓ヶ関、大鰐方面, 7/16(火) 常盤支部 支部レク●立佞武多の館、斜陽館, 7/21(日) 黒石支部 支部レク●康楽館, 7/25(木) 和徳支部 サロンつくし●革秀寺、弘前八幡宮, 7/31(水) 四中りんご支部 支部レク●青森港湾事務所、三内丸山遺跡, 8/1(木) 南中央支部 支部レク●未定

Table with 4 columns: 1号車 板柳町, 2号車 中泊町, 3号車 中泊町. Rows include 板柳町 表町・海童神社 11:20, 中泊町 薄市・澤田木工所前 11:15, 中泊町 小泊・農協ストア 10:50

もらわないと経営的には成り立たない。

「経営危機」という言葉の使い方には留意が必要だが、公認会計士の方が決算を見て、津軽保健は「経営危機の状態にある」と所見で述べられており、われわれもまっすぐに受け止めている。

23年の夏期一時金増額は23年決算に反映されているが、労働組合との交渉の中で22年度に出した赤字に対して職員への還元が少ないのではないかと要望があり、それに答えた形になっている。22年度は10億円近い赤字で、本当は22年度中にせよればよかったと思うが、コロナ禍で奮闘した職員に感謝するという事で増額することとした。理事会では異論もあつたが、議論の中で増額を決定し、多数決で決めたのではないため何名が反対したかは明確になっていない。

組合員に対する要求を、はっきり示してほしいというご意見があった。総代会の議案書とは別な形で、組合員の活動の拡大、出資金拡大などに皆さんのご協力をお願いしたいと考えている。

救急車や救急輪番については、泉谷事務局長が答弁する。

泉谷 雅人 事務局長

【答】 高松総代の救急搬送の増加の件です。津軽圏全体で、救急車の出動件数が増加しています。特に高齢者の搬送が増えています。そのため、弘前市の消防の「日中救急隊」という取り組みで成果を上げているということです。

市の制度設計としては、まずは急患診療所を受診し、対応できない場合は二次救急の病院を受診する流れとしています。二次救急病院を公表することによって、患者がその病院へ直接行ってしまふことを懸念しているからです。そのため市としては公表を避けています。藤原総代からの質問で、医師の

働き方改革についてお答えします。医師の業務は非常に過酷な状況があります。朝、病院に出勤し、一晩泊まって寝ないで仕事をし、次の日またスタートする。30〜40時間くらい休みなしで連続で働く状況がざらにあります。救急当番の日は寝れば良いのですが、ひっきりなしに救急車が来るので寝れないのが現実です。

とりわけ長時間労働が全国的な問題になっておりまして、国としても改善の動きが始まりました。具体的には医師の業務に対して、何が労働で何が自己研鑽なのかを明確にし、年間の残業時間を960時間に収めなさいという事です。その制限を守るために弘前大学、弘前総合医療センターとともに協議を行ってききました。2024年度は何とか救急輪番制度を維持できそうですが、それ以降は未知数です。健生病院でも可能な限り断らない救急を実践したいところですが、残業上限等の新しい制度に対応するため病院としても模索しているところです。

第2号議案

高松 利昌 総代

【発言】 本年4月の月次決算は経常利益で△1億2870万円、予算対比で△4110万円。12倍すると△15億3600万円となります。このままいけば資金ショートを起こしかねない。5月の経営はどうであったか。今後4年間で全役員参加で必ず経営改善を達成する手立ては見えているのか。崖っぷちだという共通認識で経営にあたってほしい。

こういう重大な議論をする総代会が、一人4分という発言時間の制限は止めて、討論のやり取りができるようにしてほしい。

健生病院の班会メニューを全てホームページに掲載してほしい。介護保険制度や子育て支援金制度

について、班会メニューとしての学習会に自前の講師を派遣できるようにしてほしい。

米村 榮子 総代(常盤支部)



【発言】 今回の議案書を読んで感じたこと。ひとつは、私たちが命のよりどころとしている医療機関の7割が経営困難に陥っているということ。診療報酬の引き下げ、医師不足、医療材料費の値上がりなど、どれもみな国の施策の失敗だと考える。大多数の国民を無視していると思えない。もうひとつ、組合員、手配りさん、班の数がだんだん減ってきていること。常盤支部でも保健生協を身近に感じてもらえる働きかけの工夫が必要。最後に、津軽病院の職員や先生が困難のなか、いまま診療を続けていることに感謝する。

高橋 佳孝 総代
【発言】 当生協は、非常に財務が悪い。事業収入100億円を稼ぐのに事業費用110億円掛けている。そこを抜本的に改革しなければ、当生協は生き延びていけない。その改革を現場でちゃんとやってほしい。そのスピードが遅い。昨年の事業計画に第5次中期事業計画に着手すると書かれていたが、これからやるということに遅い。

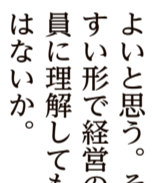
私は健生病院の利用率が高いが、整形外科は他病院を利用していただ。これからは、健生病院に完全に切り替えたい(笑)。もしみなさんがほかの医療機関を利用しているなら健生に切り替えてほしい。出資だけで利用してない組合員もいると思う。その方たちに働きかけるには、健康づくり委員会がやっている「健康づくり講座」が武器になると思う。当生協の基盤を強化するために頑張ろう。

浅利 直志 総代

【発言】 経営困難のため、役員報酬の引き下げを行うという。私は賛成だ。また、津川先生の時代からの伝統である「健康」新聞も削減に踏み込む検討をすべきだ。現在年11回の発行だが半減させてもよいと思う。そのようにわかりやすい形で経営の困難な状況を組合員に理解してもらうことが必要ではないか。

当生協は1300人が働き、女性職員も多い。メンタルヘルス改善やハラスメント対策のため、専門家を入れた委員会の設置が必要な情勢である。当生協はどのような対応をしているか。

三浦 良成(名誉役員)



【発言】 2023年度は償却前経常剰余が大きなマイナスで、2024年度予算は必要剰余に6.5億円届いておらず、大きな資金流出を招く経営状況である。今年度4月の経営は既に予算を大きく下振れている。経営の基本は費用の削減だが、物価高の影響で水光熱費と材料費が大幅に増加している。よって今後の対策では、人件費の削減は避けて通ることができない。徹底した業務改善による各部署職員定数の見直し、県連加盟法人間の連携、退職金規定の見直しなどにより、人件費の圧縮を断行する必要がある。収益の増加は、診療報酬に対応した病棟の再編、病棟の更なる高稼働・高回転の前進が前提となるが、入院部門で法人の全必要剰余を獲得するための大幅な収益増加は厳しい。外来・訪問診療・健診を伸ばしていく必要がある。

野田の生協会館は立地も良くよく「サテライトクリニック」の開設は地域ニーズにも合致している。健診の展開を検討してどうか。また訪問診療を重視し、午前には訪問診療、午後と夜間に外来診療を位置付けてはどうか。津軽保健生協最大の経営危機を脱するには、職員・組合員の更なる

の団結を固めること、そして考えられる全ての経営改革を断行せねばならない。常務理事会、理事会をあげて抜本的経営改革案、中期経営計画を早急に立案する必要がある。各分野の責任者との綿密な協議のもと、全ての改革内容を数値化して計画を立て、臨時総代会の開催で経営改革方針の集中討議をすることが望まれる。

社会保障抑制政策のもと、とりわけ診療・介護報酬が低く抑えられており、全国の医療機関が経営難にあえいでいる。今こそ全国民的運動によって病院・事業所存続のためのたたかいを展開し、地域・国民の財産である病院を守っていかなくてはならない。津軽保健がその運動の先頭に立つていくことを期待する。

村上 渡 専務
【答】 5月の経営がどうであったかは、剰余としては△5400万円の赤字だったが、予算との比較ではプラスの700万円であった。2か月で△1億8200万円の赤字、予算を3300万円下回る到達となっている。中長期計画が必要なのは大いに認識している。昨年度の段階では藤代健生病院や診療所をどうして

いくか、大規模投資も踏まえた中期計画が必要としたが、今は目の前の経営をどうするのかというところが喫緊の課題となっている。5年の改善計画として数字を示したが、それをどのような事業内容で実現するかという点ではまだ不十分で、今後この数字目標を基により詳細な計画を立案する。

健生病院班会メニューのホームページ掲載、介護保険等の学習講師を養成することの要望は前向きな提案として受け止めたい。「健康」新聞の削減検討というご意見だが、むしろ「健康」の内容充実と活用で経営困難打開や組合員活動の前進を切り拓いていくという提案です。

メンタルヘルスの改善については、すでに仕組みをつくって対応している。ハラスメントは、安心して働き続けられる職場づくりをすすめるという目的で今期、学習・教育する計画を立てている。また、ハラスメントをはじめとした諸問題については、職員個人から総務部に直接相談する仕組みを構築しており、相談があった場合に対応するための規程も定めている。

退任理事・監事紹介
(敬称略)
市田 緑
五所川原支部
理事 7期14年

尾上 俊一
理事 3期6年

館山 政信
板柳支部
理事 4期8年

西谷 俊一
尾上支部
理事 3期6年

長谷川誠司
木造新田支部
理事 2期4年

後藤 昭蔵
監事 2期4年

佐々木睦子
板柳支部
理事

岩瀬 久
岩木支部
理事

鈴木 和久
田舎館支部
理事

野崎 克行
木造新田支部
理事

須藤 優子
黒石支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

新任理事紹介
(敬称略)
岩瀬 清昭
平賀支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

岩瀬 清昭
平賀支部
理事

医師からの紙ヒコーキ



猫と、わたしの仕事の話

精神科 小鹿 瞳子

わが家の「ちくわ君」がひきこもった時の話です。ある日帰宅すると、いつもにやあにやあ寄ってくる猫2匹が片方しかおらず、家中を探すと、彼は2階の小部屋の暗がりになんまりと丸まっていた。どこへ行くにもくっついてくる甘えん坊が、上目遣いでこちらを見つめ、じっと動かない。どうした？ 具合悪い？ いつも大喜びで食べるフードを鼻先に近づけても無関心。

ちくわ君は、多頭飼育崩壊のお宅から飢餓状態で助け出された保護猫です。何にでもがつつき厚かましい性格の割に、季節の変わり目に調子崩したり、普通の仔猫が罹るはずもない慢性歯肉炎だったり、運動発達が悪くジャンプも苦手な、ひよわボーイ。

お腹を触っても胃腸炎の時みたく嫌がる様子もなく、呑気に毛繕いを始めるあたり、緊急事態ではなさそう。そっと見守ることにして離れると、そろりと出てきて水を飲み、またひきこもる。翌朝も、おんなじ場所で動かない。お皿を見せると今度は一瞬嬉しそうに瞳を輝かせるけど、中身を覗いてにやあ、とひと鳴き、そっぽ向く。口の周りをべろっとしたから、お腹はすいてる？ 試しにスペシャルおやつを持っていくと…すごい勢いで食べました。え…まさかごはんに飽きてひきこもっ

てるんですか…？ そこからは召使のようにひきこもり坊やへ御馳走を運ぶ日々。歯肉炎が疼いて硬いフードが嫌なの？ここ最近の寒暖差がしんどかった？ それとも1階に粗相の形跡があったから、縄張りを汚され怒った先住猫「おあげちゃん」にポコポコにされた？(ツンデレ姉さんは甘えん坊の弟分が憎たらしかったのが、心なしか仔猫返りしてのびのびしてる感も…)。心配な日々を過ごすうち、いつの間にか何事もなかったかのように、ちくわ君は脱ひきこもりを果たし、凶々しく家中を闊歩する猫に戻ったのでした。フードも元通り。なんだったの一体。

精神科の仕事も、大体こんなふうです。言葉が通じぬ乳児についてあれこれ空想する母親のように相手の心や事情を「物思い」、解決方法も不確かな中で苦しさを共に持ち堪える「容れ物」を担い、少し状況がよくなった時は、結局なんだったのか答えは分からないけれど、変わったってことは、何かよかったんだねってことで。少なくとも、その人を心配して気に掛け、空想し、関わりながら観察して。地味な仕事ですが、その人が、前よりちょっと広やかな雰囲気になった時は、良かったねって、うれしいものです。

支部総会

各地で熱心な討議



5月11日 五中支部 26名



4月28日 平賀支部 35名



5月11日 常盤支部 22名



5月11日 北支部 9名



5月15日 鶴田支部 11名



5月15日 東中支部 21名



5月18日 和徳支部 30名



5月15日 小泊支部 11名



5月21日 時敏支部 14名



5月20日 下町支部 20名



5月18日 板柳支部 24名



5月24日 三大支部 20名



5月23日 文京支部 17名



5月22日 大成支部 18名



6月11日 鱈ヶ沢支部 16名



6月11日 中里支部 10名



5月24日 河西支部 21名

津軽保健生協 健康づくり委員会
ストレッチ教室
 6月7日・9月10日 毎週月曜日
 (7月13日、9月14日、21日、10月12日は土曜日)
 9時30分～11時00分

プログラム

- 講話 -
健康に関する講話、身体の仕組みなど(津軽保健生協職員、ファルマ、ボランティア)
- ストレッチ -
筋肉の動かし方、ボール、セラバンド体操など(ひろさき健康増進リーダー、弘前市スポーツ指導員)

希望者には終了後にフットケアも実施します！(予約制)

お気軽に!! 参加費無料!! 動きやすい服装で!
 来れるときの参加で結構ですが申込をお願いします。
 会場:津軽保健生協会館
 申込先:津軽保健生協組織部(0172-35-8933)

ストレッチ教室予定表

— 1回のみ参加でもOKです—

日程	9時30分～10時 ミニ講話
第5回 7月1日(月)	健生病院(5階東病棟のリハビリ)
第6回 7月8日(月)	健生病院3階東(消化器センター)
第7回 7月13日(土)	総合診療科松井Dr.(受診時の困りごとなど)
第8回 7月22日(月)	藤代健生病院(キャンブル依存症)
第9回 7月29日(月)	フットプリント・アンケート記入

医心伝心

入職してからの日々を振り返って

2年目研修医

相内 一朗 医師



健生病院2年目研修医の相内です。私事ではありますが、これまでを振り返り感想を述べてさせていただきます。私は弘前

大学への入学と奨学金制度を機に青森県民医連と出会い、6年間奨学生として民医連にお世話になったことから健生病院へ入職いたしました。また学生時代の臨床実習でも健生病院のいくつかの診療科を回らせていただき、研修医が成長できる環境、指導医の先生による熱心な指導体制、温かいスタッフの皆さんの雰囲気にも魅力を感じたのも入職いたしました理由の一つです。

いざ研修医としての生活が始まると、学生時代に培ってきた知識を現場で生かすことの難しさ、様々なオーダーや指示出し、診療の流れがわからないなど、患者さんを目の前にしても右も左もわからないような毎日、出口の無い迷路を彷徨うような感覚が長く続いていたように思います。また、医師としてという前に社会人として生きていく難しさも痛感しました。スタッフ・患者・患

者家族など多くの「人」との関わりが避けられないこの職種ではコミュニケーションの取り方で信頼関係の構築や崩壊が起きるということを何度も思い知りました。後輩の研修医の先生も迎え入れ、1年先輩として振舞いながらも、自身自身の至らない点を思い知る毎日ですが、一つ一つを受け止め自分の経験とすることで一歩一歩成長していきたいなど考える今日この頃です。今年も昨年よりも多くの成長がある1年にしたいと思います。

医心伝心

「添え木」のように支える存在

2年目研修医

宮澤 千裕 医師



緊張と期待に胸を膨らませて入職した2023年4月から、あっという間に1年と3か月が経ちました。ちょうど1年前

の私は、何をすることも自信がなく、不安でいっぱい毎日過ごしていました。一時期は心身の不調から普通に働くことが難しい時期もありました。そんな中、先輩や指導医、研修担当事務の方々が熱心に支えてくれたおかげで少しずつ出来ることが増え、医学を学ぶ面白さや患者さんに関わることの喜びを感じられるようになりました。あの時、「しばらく休んだら？」ではなく「低

空飛行でもいいから頑張ろう」と、励ましてくれた人達がいたからこそ、毎日元気で働けている今の自分があるのだと思います。新しくできた後輩や患者さんが困っていたら、その人の持つ力を信じて、「添え木」のように支える存在でありたいです。

さて、研修を通して健生病院が地域から愛されることを日々実感しています。入院患者さんから「亡くなった家族が健生病院にかかっていたら」と聞く機会はとても多いですし、当院産婦人科で出産し、その子どもが小児科にかかる方もとても多く見かけます。また月1回の班会や平和行進、ボランティア学校に参加し、沢山の組合員さんの存在を知りました。これからも地域の皆さんと一緒に健生病院を支えていきたいと思っています。まだまだ未熟ではありますが、今後ともよろしくお願いたします。

すくすくエンジェル

4ヵ月健診の赤ちゃんたちです



齊藤 凜ちゃん
生まれてきてくれて
ありがとう♡



石岡 椿ちゃん
ずっと笑顔でいてね♡



樋口 瑠ちゃん
お兄ちゃんと
たくさん遊ぼうね♡



畑山 羽南ちゃん
生まれてきてくれて、
ありがとう♡



吉田 虎太郎ちゃん
たくましく育ってね♡



堺 珠唯ちゃん
お姉ちゃんと
たくさん遊ぼうね♡



中村 桜蘭ちゃん
生まれてきてくれて、
ありがとう♡



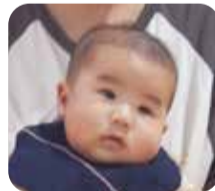
今 愛姫ちゃん
大きくなったらいっしょに
おでかけいっぱいしようね



小田 桐 風希ちゃん
元気にすくすく育ってね



佐々木 結紘ちゃん
元気に大きくなってね



稲見 澄ちゃん
お兄ちゃんと仲よく！
元気にすくすく育ってね♡



石川 千奈ちゃん
元気にすくすく育ってね！

健康パズル

応募方法

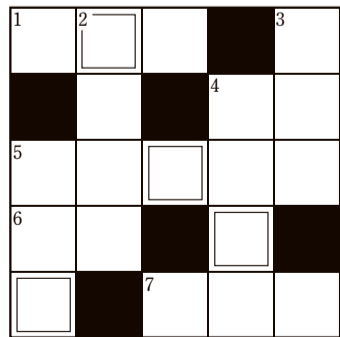
▼とき方カギに従ってマス目をうめて下さい。二重の枠の中に入った文字をうまくつなげるとひとつの言葉(答え)になります。
▼ハガキやメールでパズルの答えと、「興味を感じた記事」や、日頃の想い、身のまわりのことを記入下さい。おたよりは一部紙面に掲載させていただきます(紙上ペンネーム可)
▼締切日7月19日必着。正解者から10人にQUOカードをお贈りします。
▼送り先 T036-8045
弘前市野田2丁目2の1
津軽保健生協・健康パズル係
Eメール
kenkou@tsugaru-health.coop

《タテのカギ》

- 2 お腹がすいて眠れない時にいただきます
- 3 傘や長靴、かっぱ。空模様をみて準備する
- 4 電車やバスに乗る時に払う
- 5 果実や野菜などを砂糖と一緒に煮詰めます

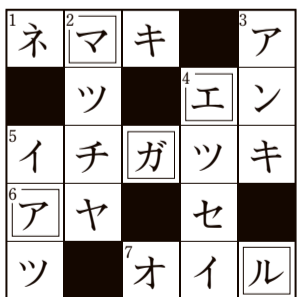
《ヨコのカギ》

- 1 太陽を浴びて肌がジリジリ
- 4 お互いの気持ちや性格が合っている。――が合う
- 5 ランニングよりもゆつたりペースで走る
- 6 困っている人を助けたり、人の――に立ちます
- 7 プールの水の消毒に使います



《ヒント》(4文字)
忘れずに水分補給!

当選者は9月号に発表



第737号(6/1付)パズルの正解「アマガエル」雨蛙

正解者多数のため、抽選で次の10名の方にQUOカードを差し上げます。(敬称略)

- (弘前市) 齊藤 雪雄
- (黒石市) 高野 勝雄
- (平川市) 永野 睦子
- (つがる市) 種田 有紗
- (五所川原市) 岩井 昌子
- (藤崎町) 佐々木 昌子
- (板柳町) 葛西 利伊子
- (鶴田町) 中田 眞弓
- (高橋良子) 小野 敦子

答え アマガエル

大鷗町 オコエ 2歳の孫が「カエル」というとカエルになりきってぴよぴよん跳ねています！本当に可愛くて幸せです。

生家を思い出して

五所川原市 片山きり子 農家の生まれだったので、蛙の声はよく聞きました。家の前が田んぼで雨が降る前になると、よく雨蛙が鳴いたものです。今回のパズルから、今はなくなった生家を思い出し、昭和を懐かしむことができました。

入居者さま

平川市 岩井 昌子 毎年、玄関前のお花の寄せ植えにアマガエルが入居します。とてもめんどいですが。

逆さ岩木山

鶴田町 高橋 良子 津軽平野の田植えも進み、水が張られて来た。逆さ岩木山の美しさに見とれている。

物価高騰！

板柳町 抹茶大好き 育ち盛りの子ども達に野菜をたくさん食べさせたいのですが、最近野菜が高くてなかなか手が出ません。半額シールを目にかけて買うようにしています。

野菜は手作り

つがる市 佐々木むつ子 毎月楽しみな「健康」です。とくにクロスワードパズル！ 定年後の暮らし、野菜作りに精を出す毎日です。

お世話様です

弘前市 碓谷 由委 いつも楽しみに「読者サロン」「すくすくエンジン」を見ています。お世話になって6年くらいですが、母に勧められました。今は良かったなあと思って毎回受診を楽しみに伺っています。

医師からの…

青森市 もものママ 「医師からの紙ヒコーキ」で、いかにタバコはダメか、よくわかりました。ご近所なんです弘前市 パンダ さくらまつりが終わり、少し静かになった弘前公園ですが、これからまた季節の植物、花が楽しめます。散歩に行きますよ。

痛かったよ

青森市 あじさい好き 先日、ギックリ腰になってしまいました。周りからは、私のは軽い方だと言われましたが、とても大変でした。予防できる体操があったら知りたいです。

やせれば解決

五所川原市 ゴンベ やせれば全て解決！ という言葉をときどき思い出し反芻しています。何年も前、まだ勤めていた頃に、検診結果を見て、お医者さんが発した言葉です。実行し実現できずに今に至っています。生活習慣を見直して少しずつ改善すれば良いのですが…。なんとかしたい!!

歩きましょう

弘前市 工藤 内記 最近体重が増えてきたので、朝新聞を取るために4階から1階まで歩いて行っている。帰りは時々4階まで階段を使っている。思うように体重は減らない。

剪定は成功

弘前市 齋藤 雪雄 頭の体操のために、読書、数独、パズルなどを実行しております。高齢で大変ですが、庭の松の剪定を行いました。まあまあ成功でした。

イチゴの花

弘前市 木村 道子 庭のチューリップの花が終わり、今イチゴの花がまっさかり!! おいしいイチゴが待ち遠しいです。

激しい天気

藤崎町 M・N 気温がジェットコースターのように上がったたり下がったり。脊椎に疾患を抱えている私にはしんどい日々です。そんな時は、温泉に行ったり、夜早めに布団に入ったり…私の場合は機嫌よく過ごすことが体調の回復に役立っているようです。

自転車こぎ

つがる市 蝦名 憲英 季節が春から夏に移って行きます。傘寿を過ぎて82歳になりました。体力は維持したいので、ウォーキングプラス自転車こぎです。自慢の自転車は28インチ、5段変速。帰宅して妻がコーヒーを。

初挑戦のダンス

弘前市 小山内孝雄 「認知機能低下予防」のために、昨年から「スクエアダンス」を始めました。77歳にして生まれて初めて「ダンス」への挑戦です。今は「ベースシーク」と「メイストリーム」プログラムをどうにか踊れるようになりました。

元気に集作り

黒石市 たねこ 毎年ツバメが集作りに我が家に来るのですが、今年はいつもとより遅い…と思っていると、先日ようやく姿を見せてくれました。来ないとなんだか心配になり、元気な姿が見られて嬉しくなります。



5月度臨時理事会 (5月14日)

- 【報告事項】
● 4月度の主な経過報告
● 2023年度決算報告
● 役員報酬審議会報告
【審議事項】
● 自由診療料の新設「人工妊娠中絶 (MVAキット使用)」
● 自由診療料の新設「経口中絶薬」
● 自由診療料の新設「5種混合ワクチン (ゴビビック水性懸濁注シリンジ)」
● 2024年度夏季一時

5月度定例理事会 (5月28日)

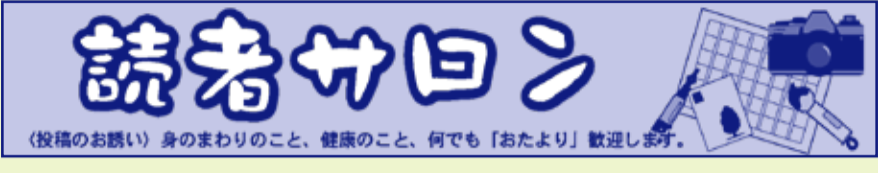
- 【報告事項】
● 5月度の主な経過報告と6月・7月・8月の主な行事予定
● 専門委員会報告
● 4月度の月次決算報告
● 4月度の組合員活動報告
● 青森県医療事業協同組合理事会報告
● 青森県生活協同組合連合会理事報告
● 第2回役員報酬審議会報告
● 2023年度決算監査報告

金について

- 【協議事項】
● 第99回通常総代会議案書 (案)
● 2024年度予算

【審議事項】

- 【議決事項】
● 第74期役員報酬の提案
● 第99回通常総代会に付議すべき事項 (再提案)
● 役員表彰規程の変更について
● 第99回通常総代会議案書
● 自由診療料の新設「経口中絶薬メフィーゴパックを用いた人工妊娠中絶」
● X線撮影装置リース更新の件



楽しいお料理 夏野菜と豆腐の春巻き. 1本分あたりエネルギー 188kcal 塩分 0.7g. Includes ingredients and cooking instructions.

このような時、ご連絡ください
・住所、氏名が変わった時...
・引っ越しされた時...
・「健康」新聞が2部届いている時...
・組合員がお亡くなりになられた時...
津軽保健生活協同組合 組織部
電話0172-35-8933

藤代健生病院 家族教室のご案内
1人で悩まず正しい対応を学ぼう
7月13日(土)
講師：ギャンブル依存症家族の会青森
時間*9時30分~11時30分の開催です。
地域連携室 Tel.0172-36-5181

【協議事項】
● 第99回通常総代会関連
1) 第99回通常総代会スローガン (案)
2) 特別決議 (案)
3) 議事進行一覧表 (案)
津軽保健生協 2024年度仲間ふやし・出資金ふやし大運動方針 (案)